

セクション名	日本側大学名	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携（地域連携）	プログラム名（和）	プログラム名（英）	プログラム名（露）	交流形態	対象者	共同教育プログラムの有無	活動内容（学生交流・人材育成に係る活動）	今後希望する交流（地域・組織・分野・交流形態等）	参考URL（和）	参考URL（英）	参考URL（露）	参画者の氏名
（1）医療健康	新潟大学		クラスノヤルスク国立医科大学 極東国立医科大学 北東連邦大学 サントペテルブルグ国立大学 太平洋国立医科大学 カザン連邦大学 カザン国立医科大学 モスクワ国立大学 モスクワ国立第一医科大学（セチェノフ大学）	新潟県 新潟市 公益財団法人 環日本海経済研究所（ERINA） 株式会社 第四銀行 三井物産株式会社（新潟支店） （日露医学医療交流コンソーシアムにいがた）	日露の経済・産業発展に資するグローバル医療人材育成フレームワークの構築（Japan-Russian G-MedEx Project, G-MedEx）	Globalization and Medical Exchange Project for Career Development of Young Students in Japan and Russia (Japan-Russian G-MedEx Project, G-MedEx)	Международный проект, направленный на воспитание медицинских специалистов, которые будут способствовать экономическому и промышленному развитию России и Японии (Japan-Russian G-MedEx Project, G-MedEx)	学生の相互派遣	学部 修士 博士	学位取得（ダブルディグリー）	①大学間協定に基づく学生交流 ・25年以上の日露医学交流実績有り。 ・グローバル医療人材育成を実施（学部生の派遣・受入、単位互換または単位認定、大学院生はダブルディグリープログラムで学位取得、レギュラーPhDプログラムでは派遣・受入を実施、国費外国人留学生は学位取得コースを設置）。 ・主に極東ロシアのクラスノヤルスク国立医科大学、極東国立医科大学、太平洋国立医科大学、北東連邦大学とサントペテルブルグ国立大学、カザン連邦大学、カザン国立医科大学、モスクワ国立大学と交流あり。2018年12月にはモスクワ国立第一医科大学（セチェノフ大学）とも交流を開始予定。 ②企業・地方自治体等との連携 平成30年度、新潟地域コンソーシアムを形成。	医療資源（極東ロシアの医療資源などの疫学調査）、脳疾患（アルツハイマー病に対するトランスレーショナル研究）など	https://www.med.niigata-u.ac.jp/g-medex/index.html	https://www.med.niigata-u.ac.jp/g-medex/index.html	https://www.med.niigata-u.ac.jp/g-medex/index.html	山川 詩保子
	筑波大学		ロシア国立研究医科大学 モスクワ国立大学 カザン連邦大学 ヴォシビルスク国立医科大学 太平洋国立医科大学 ロシア各地の病院	なし	ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム	Global Education Program for Developing Multilingual Human Resources in Japan, NIS and Baltic Countries (Ge-NIS)	Глобальная образовательная программа для подготовки кадров в экономической и научной сферах по мультилингвистической системе в Японии, странах СНГ и Балтии (Ge-NIS)	実習 実務研修	学部（一部 修士・博士）	なし	①大学間協定に基づく学生交流 ・ロシアの医科系大学、医学部を有する大学と医療実務研修などの双方向の交流を実施している。 【交流大学】ロシア国立研究医科大学、モスクワ国立大学、カザン連邦大学、ヴォシビルスク国立医科大学、太平洋国立医科大学 【受入】平成26年度～平成30年度までに49名を受入れ、病院での実習を実施。 【派遣】平成27年度～平成30年度までに4名を派遣し、病院での実習を実施。また、平成26年度～平成29年度までに21名を医療実務研修にて派遣し、現地の病院や大学を視察。	従来通りの内容の継続。	http://genis.jinsha.tsukuba.ac.jp/			菅井 健太
	金沢大学	脳神経科学 予防医学 がん医学 循環医学	カザン連邦大学 クラスノヤルスク国立医科大学 サントペテルブルグ国立第一医科大学 タタルスタン共和国がんセンター	理化学研究所	日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム（先制医療プログラム）	Training Program for Russia-Japan Innovative Leaders of Tomorrow (Preventive Medicine Program)	Японо-российская программа подготовки и лидеров будущего (Программа по профилактической медицине)	学生の相互派遣	教員（研究 交流） 博士	なし	①大学間協定に基づく学生交流 ・カザン連邦大学 交流協定（1998年～） ・クラスノヤルスク国立医科大学 交流協定（2017年～） ・サントペテルブルグ国立第一医科大学 交流協定（2018年～） ・クラスノヤルスク国立医科大学と脳神経科学の分野で研究交流実績がある。 平成30年度からは、大学の世界展開力強化事業のもと、本学主催先制医療プログラムで、学生の派遣・受入を行う。 ②企業・地方自治体等との連携 2018年1月にカザン連邦大学とタタルスタンがんセンターを含む三者協定を締結（カザン連邦大学を通してタタルスタンがんセンターと交流を行う予定）。 ③その他（学生交流・人材育成に関する実績と計画） 2017年12月21日金沢大学の学術団体がタタルスタンがんセンターを訪問、視察。 2018年1月17日 金沢大学主催の大学の政界展開力事業キックオフシンポジウムにタタルスタンがんセンターのセンター長等が出席。	理化学研究所やカザン連邦大学と連携して、将来的には日露医学研究教育センターの開設を目指す。	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/program/	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/en/program/	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/ru/	原 章規
	長崎大学	被ばく医療	北西国立医科大学	福島県立医科大学 福島県川内村 原子力安全研究協会 アルバイン株式会社	日露の大学間連携による災害・被ばく医療科学分野におけるリーダー育成事業	Japan-Russia Intercollegiate Cooperative Project for Nurturing Leaders in Disaster and Radiation Health Sciences	Совместное развитие образовательных ресурсов в области «охрана жизни» (Life Care) в целях укрепления японо-российских отношений	学生の相互派遣	修士	ダブルディグリー	①大学間協定に基づく学生交流 ・北西国立医科大学 学生交流協定（2013年～） 学生の相互派遣（短期留学、2017年派遣4名、単位認定なし、2018年より相互派遣開始、6～10名/年まで増加予定、単位認定あり、2020年よりダブルディグリー開始予定、2021年ダブルディグリー修了者2名/年予定） ②企業・地方自治体等との連携 受入留学生は災害・被ばく医療科学共同専攻学生と共に福島県川内村の長崎大学・川内村復興推進拠点、および長崎大学、川内村役場、原子力安全研究協会が共同運営しているKNNセンターにおいてフィールド実習を行う。 川内村役場、地元住民の協力のもと災害・被ばく時の原子力災害医療・放射線健康リスクコミュニケーションについてのワークショップに参加する。 ③その他（学生交流・人材育成に関する実績と計画） 2008年：再生医療に関する共同ワークショップを長崎大学で開催	特になし	http://www.fmu.nagasaki-u.ac.jp/sekateikai	http://www.fmu.nagasaki-u.ac.jp/en/sekateikai		高村 昇
	東海大学	ライフケア	極東連邦大学 サハリン国立大学 モスクワ国立大学 国立研究大学高等経済学院（HSE）		ライフケア分野における日露ブリッジ人材育成一主に極東地域の経済発展を目的として一	Fostering Bridge Personnel between Russia and Japan on Life Care for Economic Development in Russian Far East	Совместное развитие образовательных ресурсов в области «охрана жизни» (Life Care) в целях укрепления японо-российских отношений	学生の相互派遣	学部 修士		①大学間協定に基づく学生交流 （2017年度） ・大学の世界展開力プログラムで、今後5か年にかけて、交換交流協定における交流を実施する。2017年度は、極東連邦大学との学生の派遣・受入交流を実施した。（2018年2月～3月実施：短期海外研修13名受入、13名派遣） （2018年度） ・交流校は、モスクワ国立大学・極東連邦大学・サハリン国立大学・国立研究大学高等経済学院。（中長期海外研修5名受入、5名派遣） 2018年2月：サハリン国立大学と学生交流に関する学術協定を締結。 ③その他（学生交流・人材育成に関する実績と計画） （2018年度） ・2018年2月：本学世界展開力強化事業スタートアップシンポジウム開催。 ・2018年9月：極東連邦大学内に本学海外連絡事務所を開設。 ・2018年10月：本学高輪キャンパス内に極東連邦大学海外連絡事務所を開設。		http://www.russia-uztokai.ac.jp/en/	http://www.russia-uztokai.ac.jp/en/	http://www.russia-uztokai.ac.jp/ru/	山本 佳男
			極東連邦大学 サハリン国立大学	2018年 東海大学 新潟大学 近畿大学 北海道大学			その他（海洋調査実習 船上で学生交流）	学部 修士 教員			③その他（学生交流・人材育成に関する実績と計画） ・大学の世界展開力強化事業の一環で、2018年8月7日～15日本学の海洋調査実習船「望星丸」を利用しウラジオストク航海を実施。往路は日本人学生、復路は日本人学生に加えてロシア人学生を同乗させて船上交流を行った。船上では、ロシア語講座、寄港地研修、極東地域の環境、歴史等に関する講義を実施した。また、ロシア人学生は日本入国後、19日まで日本文化研修に参加した。		http://www.russia-uztokai.ac.jp/vladivostok/			
			極東連邦大学 極東連邦大学附属病院 北斗医療センター（ウラジオストク） 北斗リハビリセンター（ウラジオストク）等				学生の相互派遣（健診 人材学生の相互派遣） インターンシップ	学部 修士			①大学間協定に基づく学生交流 （2017年度） ・ライフケア分野の人材育成を通じて健康寿命社会の創出を目的とし、健診人材学生のインターンシッププログラム（極東連邦大学附属病院等）の実施、学術協定に基づき、医学部生の短期交換留学。 （2018年度） ・受入学生は、同年2月本学付属病院にて研修を実施。 ②企業・地方自治体等との連携 （2017年度） ・極東連邦大学附属病院にてプログラムを実施し、北斗医療センターにてインターンシップを実施。 （2018年度） ・2017年度のプログラムを踏襲し、2019年2月極東連邦大学附属病院、北斗医療センターにて研修予定。		http://www.russia-uztokai.ac.jp/repot2017.html			
福島県立医科大学	被ばく医療	北西国立医科大学	長崎大学				学生の相互派遣	修士	ダブルディグリー（予定）		①大学間協定に基づく学生交流 ・本学と北西国立医科大学との間の学術交流協定を2018年3月5日に締結。2019年2月に本学より修士課程の学生2名を北西国立医科大学に派遣予定。単位互換を予定している。 ②企業・地方自治体との連携 特になし。 ③その他（学生交流・人材育成に関する実績と計画） 特になし	特になし				和栗 聡

(2) 都市づくり

北海道大学	寒冷地適応型省エネ技術	極東連邦大学 北東連邦大学 イルクーツク国立大学 サハリン国立大学 太平洋国立大学 モスクワ国立大学 イルクーツク国立研究工業大学	国土交通省北海道開発局 北海道 寒地土木研究所 北海道立総合研究機構 公益社団法人 北海道国際交流・協力総合センター (HIECC)	極東・北極圏の専門家を目指す日露教育プログラム (RJE3プログラム)	East-Russia-Japan Expert Education Program (RJE3 Program)	Программа RJE3	学生の相互派遣 その他(実務交流・・講義、演習、サマースクール、意見公開会の開催など)	学部 修士 博士	コチュテルプログラム(博士)	①大学間協定に基づく学生交流 平成26年度～29年度のRJE3プログラムにおいて、極東ロシア5協定校に北大教員の派遣(約20人)、北大生の派遣(約60人)、ロシア側学生の長期受入(約40人)、日露学生が北海道大学に集まるサマースクールを開催(約100人)。	https://rje3.oia.hokudai.ac.jp/	https://rje3.oia.hokudai.ac.jp/en/	https://rje3.oia.hokudai.ac.jp/ru/	瀬戸口 剛	
北海道大学	寒冷地適応型省エネ技術	北海道 北海道内市町村 ロシア沿海地方政府 ロシアハバロフスク地方政府 ロシアサハリン州政府	北海道 北海道立総合研究機構 北海道内民間企業 一般社団法人 北海道総合研究調査会 (HTT)	HaRPプログラム... 北海道・ロシア地域間協力プログラム(北海道)	HaRP Program Hokkaido-Russia Regional Cooperation Program (Hokkaido)	Программа HaRP: Программы регионального сотрудничества Хоккайдо с Россией	その他(実務交流、実務研修、セミナー・意見交換会の開催)	その他(行政関係者、民間企業の社員、研究者)		③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 平成28～29年度に、「寒冷地建設技術セミナー」等により、日露の関係各校および関係機関を集めて、セミナーおよび意見交換会を開催。	ロシア極東地域を中心にセミナーや人材育成などを行っている。プログラムへのニーズが高いことから、今後はロシア全地域に展開を予定している。	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/russia/kyouryokuteam_170913_2.pdf	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/russia/russia/r-keizai/jousetugoudouinkai/program/index-ke.htm	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/russia/kyouryokuteam_rus.pdf	瀬戸口 剛
北海道大学	寒冷地適応型省エネ技術	ロシア大学関係者 ロシア沿海地方政府 ロシアハバロフスク地方政府 ロシアサハリン州政府 ロシア民間企業	外務省 一般社団法人 北海道総合研究調査会 (HTT)	外務省OJT研修プログラム(外務省)との連携	MOFA OJT Program (Ministry of Foreign Affairs of Japan)	Программа практического обучения кадров министерства иностранных дел Японии	その他(実務交流、実務研修、セミナー・意見交換会の開催)	その他(行政関係者、民間企業の社員、研究者)		②企業・地方自治体等との連携 平成29～30年度に、「寒冷地建設技術OJT研修」等に協力し、日露の関係各校および関係機関を集めて、セミナーおよび意見交換会を開催。	ロシア極東地域を中心にセミナーや人材育成などを行っている。プログラムへのニーズが高いことから、今後はロシア全地域に展開を予定している。				瀬戸口 剛
北海道大学	寒冷地適応型省エネ技術	ロシア大学関係者 ロシア沿海地方政府 ロシアハバロフスク地方政府 ロシアサハリン州政府 ロシア民間企業	外務省 一般社団法人 北海道総合研究調査会 (HTT)	国土交通省人材育成事業(国土交通省)との連携(予定)	MLIT HR Development Program (Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism)	Программа подготовки кадров министерства земли, инфраструктуры, транспорта и туризма Японии	その他(実務交流、実務研修、セミナー・意見交換会の開催)	その他(行政関係者、民間企業の社員、研究者)		②企業・地方自治体等との連携 平成29～30年度に、外務省主催の「寒冷地建設技術OJT研修」等に協力し、日露の関係各校および関係機関を集めて、セミナーおよび意見交換会を開催。					瀬戸口 剛
新潟大学	日本住宅企業のロシア進出の展望と課題 日露住宅市場比較														道上 真有
東京大学	社会基盤学	モスクワ国立大学 サンクトペテルブルグ国立大学					学生の相互派遣	学部 修士 博士		工学系研究科では、モスクワ国立大学及びサンクトペテルブルグ国立大学を対象に、社会基盤学分野における学生交流を実施している。	今後は、工学系分野を有するロシアの他大学も含める形で、日露の学生交流を発展させたい。				佐藤 慎司
長岡技術科学大学	交通計画 都市計画 地盤工学 水工学など	極東国立交通大学		Nagaoka Summer School for Young Engineers (NASSYE)	Nagaoka Summer School for Young Engineers (NASSYE)	Летняя школа Технологического университета г. Нагаока для молодых инженеров (NASSYE)	学生の受入(短期)	学部3年(5年制大学の場合は学部4年)	なし	①大学間協定に基づく学生交流 ・極東国立交通大学と大学間交流協定及び学生交流覚書締結(2018年6月～) ・モスクワ国立大学心理学部と長岡技術科学大学環境社会基盤工学専攻で部局間交流協定締結(2018年9月～) ③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 長岡技術科学大学では、海外の大学の第3学年に在籍する学生(5年制大学の場合は第4学年)に対して、本学の研究室が設定するテーマに基づく研修への参加及び文化交流体験等を行うNagaoka Summer School for Young Engineers (NASSYE)に参加する学生を募集しています。(※ロシア人学生に特化したプログラムではありません)	工学分野における日露の学生の恒常的な往來を創出していきたい。	http://www.nagaokaut.ac.jp/j/kokusai/nassy.html	http://www.nagaokaut.ac.jp/e/kokusai/nassy.html	鳩山 紀一郎	
北海道大学	地震火山・防災									*詳細は「(4) エネルギー開発」の欄に記載					高橋 浩晃
北海道大学	北極域の持続的開発 永久凍土生態系									*詳細は「(4) エネルギー開発」の欄に記載					杉本 敦子

(3) 中小企業交流

北海道大学	北極域の持続的開発 永久凍土生態系									*詳細は「(4) エネルギー開発」の欄に記載					杉本 敦子
北海道大学	触媒	ロシア科学アカデミーシベリア支部 ボレスコフ触媒研究所 (BIC) Nanocomposite Materials Group of companies (NCM)					学生の相互派遣(予定)	修士 博士 その他(若手研究者)		②企業・地方自治体等との連携 ロシア企業Nanocomposite Materials Group of companies (NCM) (ナノ微粒子・ナノ複合材料の開発と製造)との共同研究の可能性に関して検討中。 ③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 2018/11/19(月)～11/23(金)にBorekov Institute of Catalysis of Siberian Branch of Russian Academy of Sciencesから学生3名を受け入れることで準備中。その間の用務。1. morning lectures in our institute. 2. students' exchange meetings including scientific presentation from both sides. 3. laboratory visiting.					西田 まゆみ
金沢大学		カザン連邦大学		日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム	Training Program for Russia-Japan Innovative Leaders of Tomorrow	Японо-российская программа подготовки лидеров будущего				②企業・地方自治体等との連携 平成30年10月にタタールスタン共和国の大統領が石川県や本学を訪問した。ジェットロ金沢による、地元企業等を対象としたフォーラムが開催された。 「ロシア連邦タタールスタン共和国交流フォーラム」 https://www.jetro.go.jp/events/kan/2854691a2b6fa12b.html	地元北陸の企業(製造業に限らない)との連携のため、企業交流の場を設け、または、類似する事業分野の企業を適宜選択し、連携を促進する。	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/program/	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/en/program/	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/ru/	大友 信秀
創価大学										*詳細は「(8) 言語・文化・観光(仮称)」の欄に記載					小崎 晃義
大阪大学		極東連邦大学								*詳細は「(8) 言語・文化・観光(仮称)」の欄に記載					藤原 克美
		シベリア連邦大学					インターンシップ(中小企業インターンシップの日露相互での実施) その他(語学研修)			③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) シベリア連邦大学人文科学部の佐藤氏と、中小企業インターンシップの日露相互での実施について協議を進めた。本学では国際教育交流センターにおける語学研修を含む。					

(4) エネルギー開発

(5) 産業多様化促進

(6) 極東の産業振興

北海道大学	地震火山・防災	ロシア科学アカデミー本部・研究所 極東連邦大学	外務省 文部省 内閣府	・日本国及びロシア連邦の隣接地域における地震、火山噴火及び津波の予測、警戒及び対処の分野に関する日本国政府とロシア連邦政府との間の協力プログラム (政府日ロ防災協力プログラム、外務省) ・日露科学技術協力(文科省) ・北方四島専門家交流事業(内閣府)			学生の相互派遣 その他(教員の相互派遣)	修士 博士	なし	地震火山・防災分野での交流を実施中 ①大学間協定に基づく学生交流 ・ロシア科学アカデミー本部との包括連携協定。 ・極東連邦大学から教員・大学院生招聘(H29)、日ロ青年交流センター経由招聘(H30-H31)。 ②企業・地方自治体等との連携 ・政府日ロ防災協力プログラム(外務省)。 ・日ロ科学技術協力(文科省)に登録、北方四島専門家交流事業(内閣府)の実施。 ・本学大学院生をフィールド調査等に派遣(最近ではH25、H26、H29)。 ・日ロ隣接地域の災害軽減による安全・安心社会の実現に関する研究教育交流。					高橋 浩晃
北海道大学	北極域の持続的開発 永久凍土生態系	北東連邦大学					学生の相互派遣 実習 その他(ウィンタースクール・サマースタールの開催)	修士 博士	ジョイントマスターコース (ジョイントディグリー) 北東連邦大学と北大環境科学院	③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) ・平成29年度に北東連邦大学と北大環境科学院の間で、北極域の持続的開発に関するジョイントマスターコースを設置し(北大環境科学院側は平成31年度よりスタート)、平成30年度に北東連邦大学の修士2年生の学生を5名受け入れる予定。 ・平成28年度、29年度にヤクーツクにおいて実施したウィンタースクール"Environment and Innovation of the North"では、学生8名に加えて、企業や省庁などの実務担当者2名が参加した ・平成28年度、29年度、永久凍土生態系に関するサマースクールを行い、12名の学生を北東連邦大学、IBPC研究所に送り、実習を行った。					杉本 敏子
東海大学	ガス・原子力	私立ガスプロム小中高等学校(旧名 公共株式会社ガスプロム附属教育センター)	東海大学付属浦安高等学校・中等部 東海大学付属高輪台高等学校・中等部 東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部				その他(小中高等学校の生徒と教員の相互派遣)	その他(中高等学校生徒)		③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) ・初等中等教育レベルで、2009年公共株式会社ガスプロム附属教育センター(新名 私立ガスプロム小中高等学校)と交流協定を締結。毎年生徒交換(人数不定)を実施。 (2017年度) 10月: ガスプロム小中高等学校より研修団が来日、本学付属高輪台高等学校を来訪。モスクワ市内のガスプロム小中高等学校、「ガスプロム・クラス」(ガスプロムが出資して設置した特別クラス)を開発しているノヴィ・ウレンゴイ市の公立小中高等学校からの生徒、合計19名、引率6名。本学付属高輪台高等学校との合同セミナーを実施。 (2018年度) 5月: ガスプロム小中高等学校(モスクワ)へ本学付属高輪台生(3名)が訪問、教育セミナーに参加。 10月: ガスプロム校より研修団(生徒10名、引率教員5名)が来日、本学付属高輪台高等学校にて文化交流会を実施。					山本 佳男
室蘭工業大学	バイオマス	極東連邦大学	北海道大学 九州大学 三笠市	なし			なし	修士	なし	②企業・地方自治体等との連携 三笠市と室蘭工業大学は包括連携協定(2012年)	極東連邦大学との連携を検討中。				安居 光國
北海道大学	地震火山・防災									*詳細は 「(4) エネルギー開発」の欄に記載					高橋 浩晃
小樽商科大学	APEC 国際貿易に関する経営学・ 経済学・法学 地域振興への大学の貢献	極東連邦大学					学生の相互派遣 その他(教員の派遣)	学部		①大学間協定に基づく学生交流 学生交換協定に基づく交換留学(単位互換実施)により、毎年度1名程度の学部学生をロシア極東連邦大学から受入れている。その中でAPECに関する授業を行っており、これに関係する交流に関心がある。また、2013年にサハリン国立大学との間で交流協定が締結されたことから、同大学からも研究生と修士課程学生を国費留学生として受け入れている。	APECに関する授業を行っており、これに関係する交流に関心がある。				小林 友彦
北海道大学										*詳細は 「(4) エネルギー開発」の欄に記載					高橋 浩晃
北海道大学	森林資源管理 環境保護	極東国立農業大学	中川町 工房宮地(旭川の家具作家)				学生の相互派遣 企業研修	修士 博士		これまでの実績として、極東国立農業大学 森林学部および土壌学部と平成16年度から研究・教育交流を続けている。 ②企業・地方自治体等との連携 ロシア展開事業の予算を使用し、極東農業大学の学部4年生を2ヶ月間招聘し、中川町、旭川(宮地工房)の家具作家との共同での木材利用振興に関わる研究に従事した。 ③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 2005年度、2006年度、2008年度に同大学の教員および修士課程の学生が、農学部および北方生物圏フィールド科学センターを訪問。2005、2006、2009、2015年には、小林を含む北大のグループが同大学のあるアムール州の森林へ行き野外調査を実施。2016年度には、日露青年交流センターの助成を受けて、同大学卒業生(現:ロシア科学アカデミー極東支部 極東地質学研究所)が3ヶ月天塩研究林に滞在し、林業研究に関する指導を行った。また、滞在中、紀伊国屋書店札幌店において、極東ロシアの森林に関する講演を行い、広く市民へ森林の現状を伝えた。	①これまで、森林資源管理、環境保護に関する交流を実施してきた。今後も、これらの分野における学生や教員の教育および研究に関わる受け入れを希望する。 ②今後の交流相手として、特定の相手先の希望はなく、広くロシアからの受け入れを希望する。			小林 真	
千葉大学	スマート農業 温室ビジネス(補物工場、 食ビジネス)	沿海地方国立農業アカデミー サハリン国立大学 ウスリースク市	農林水産省 柏市	極東ロシアの未来 農業に貢献できる 領域横断型人材育成 プログラム (FARM)	Future Agriculture with Russia Pre- Master to PhD Program (FARM)		学生の相互派遣 インターンシップ	学部 修士	検討中	②企業・地方自治体との連携 2018年3月に日本・極東ロシア農業ビジネスフォーラムを千葉県柏市において実施し、日ロの関連大学、関連企業から100人超の参加を得た。 インターンシップは、JFARMに見学で受け入れてもらっている。また、NPO補物工場研究会と連携して、柏の葉キャンパス内にある補物工場拠点でのインターンシップを実施。実習・研修は、千葉大学環境健康フィールド科学センター内において実施。2019年3月に2018年度と同様に日本・極東ロシア農業ビジネスフォーラム	①沿海地方国立農業アカデミーからは日本・ロシア極東農業ビジネスフォーラムの継続実施が希望されており、2019年5-6月にロシアで、2020年春に日本での開催を希望されている。2020年の日本で開催するフォーラムについては、千葉大学単独ではなく、このセクションとしての開催ができるようにしたいと希望する。2019年2月1日午後には柏の葉カンファレンスセンターにおいて、施設園芸に関わるシンポジウムを共同開催し、沿海地方農業アカデミーからも参加いただく予定です。 ②今後、園芸作物に加えて、林木や果樹の苗木生産での環境調節に関わる分野も視野に入れている。				高垣 美智子

	新潟大学	育種学 植物病理学 土壌学 土壌肥科学 植物栄養学 農業機械学 農業施設学 食用大豆 農作物学 食品科学 応用微生物学 森林環境科学 農業経済学 農業機械	ロシア科学アカデミー極東支部全ロシア大豆研究所 極東連邦農業バイオテクノロジセンター 沿海地方国立農業アカデミー ロシア側民間企業	農林水産省 新潟市 農業食品関連企業	平成26年度国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム「ロシア連邦極東地域における高度農業人材育成プログラム」(博士後期課程) 平成29年度「国際共同研究パイロット事業」(ロシアとの農業共同研究分野)(農林水産省農林水産技術会議)	Special priority placement program for Japanese government scholarship students "Training of Highly Skilled Agriculture Professionals in the Russian Far East" 2014 (PhD course) Pilot international research project 2017 (in areas of joint agricultural research with Russia) (Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries)	Особая программа приоритетного набора иностранных студентов - стипендиатов в Министерства образования Японии «Подготовка высококвалифицированных кадров в сфере сельского хозяйства на Дальнем Востоке России» 2017 (PhD) (в области совместных японо-российских исследований по сельскому хозяйству) (С ответ по сельскому хозяйству, Министерство сельского, лесного и рыбного хозяйства Японии)	学生の相互派遣 その他(企業研修、学生主催の「国際シンポジウム」の開催など)	学部 修士 博士	サマースクール 及びスプリングスクール	【農業系】 <活動実績：教育> ①大学間協定に基づく学生交流 ・沿海地方国立農業アカデミー 大学間交流協定(2014年～) 学生の相互派遣(短期留学、3名/年、単位認定あり) ・極東国立農業大学 大学間交流協定(2015年～) 学生の相互派遣(短期留学、3名/年、単位認定あり) ②企業・地方自治体等との連携 農業機械関連企業と共同した日本製農業機械の構造・作用、整備技術を学ぶ技術研修及び現場視察。 ③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 沿海地方国立農業アカデミーが主催するサマースクール「極東南部の森林管理と野生動物の保護」(2014年～)およびスプリングスクール「エンジニアリングの創造性」(2017年～)への参加。 ・農学部公認グローバル人材育成サークルBRIDGEが主催する国際シンポジウムに沿海地方国立農業アカデミーの学生を招き、両国の農業事情、食文化、新潟の水稲収穫体験および農業食料関連企業の視察を行った。2019年3月に沿海地方農業アカデミーが主催するスプリングスクールに学部生、大学院生が参加予定。 <活動実績：研究> カウンタパート：ロシア科学アカデミー極東支部全ロシア大豆研究所(アムール州)、ロシア科学アカデミー極東支部極東アグロバイオテクノロジセンター、沿海地方国立農業アカデミー、ロシア側民間企業 1) 2014年度～2015年度「わが国の実需者が求める遺伝子組換えでない食用大豆に係る調査研究と現地試験栽培」(農林水産省補助事業)(研究代表者：長谷川英夫) 2) 2016年度新潟市受託研究「ロシア連邦極東地域における農業発展の可能性」(研究代表者：長谷川英夫) 3) 2017年度農林水産省競争的資金、新潟市助成研究、民間企業の支援を得て、食用大豆の試験栽培、新型播種機の開発、薬用作物栽培に関する共同研究を実施。 4) 「ロシア極東における高蛋白質大豆の探索と大区画圃場に対応した高速深層施肥播種機の開発」平成29年度「国際共同研究パイロット事業」(ロシアとの農業共同研究分野)(農林水産省農林水産技術会議)(研究代表者：長谷川英夫) <活動実績：その他> 1) 平成26年度国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム「ロシア連邦極東地域における高度農業人材育成プログラム」(博士後期課程)において、食品科学、応用微生物、森林環境科学、農業経済および農業機械分野の研究に従事している。 2) ロシア産大豆に関する食品関連企業との共同研究					長谷川 英夫
	金沢大学	海洋科学 環境科学 生態学 毒性学 魚病学 大気科学	極東連邦大学 ロシア科学アカデミー極東支部 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋研究所		日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム	Training Program for Russia-Japan Innovative Leaders of Tomorrow	Японо-российская программа подготовки и лидеров будущего	学生の相互派遣 研究者の受け入れ シンポジウムの開催	修士		①大学間協定に基づく学生交流 ・極東連邦大学 交流協定(2014年～) 学生の相互派遣(交換留学、2名/年、単位認定あり) ③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 研究者受入 2007年 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋学研究所研究者1名(2007年10月1日～19日) 2010年 日露青年交流事業若手研究者等フェローシップ ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋学研究所研究員1名(9月25日～2011年1月25日) 2012年 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋学研究所研究者2名(2月16日～5月12日) 2014年 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋学研究所研究者2名(2月5日～3月15日、4月16日～6月19日) 2016年 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋学研究所研究者2名(10月11日～23日) 2017年 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋学研究所研究者2名(4月19日～6月5日) 2018年 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋学研究所研究者2名(2月22日～4月11日) 派遣 2016年～2017年 二国間交流事業ロシアとの共同研究を実施(研究者5名、学生4名) 2016年 連携シンポジウム開催 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋学研究所研究者2名 2017年 二国間交流事業ロシアとの共同研究セミナー開催 2017年 二国間交流事業ロシアとの共同研究ワークショップ(ロシア科学アカデミー内にて)開催		http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/progrm/	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/en/program/	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/ru/	長尾 誠也
	小樽商科大学	APEC 国際貿易に関する経営学・経済学・法学 地域振興への大学の貢献	極東連邦大学								*詳細は「(5)産業多様化の促進」の欄に記載					小林 友彦
	大阪大学		極東連邦大学						学部 修士 博士		*詳細は「(8)言語・文化・観光(仮称)」の欄に記載					藤原 克美
	新潟大学										*詳細は「(2)都市づくり」の欄に記載					道上 真有
	東京農業大学	食品開発 食文化 農業振興 海洋科学 日露青年交流	極東連邦大学	自治体：高知県、茨城県、北海道網走市、岩手県久慈市など42件 教育機関：北見工業大学など8件 企業：ロイヤルホールディングス、野村証券、日本香堂など26件				その他(教員の相互派遣)	学部 修士 博士(予定)	なし	①大学間協定に基づく学生交流 2017年に極東連邦大学と連携協定締結。2018年度より食品に関する共同研究を開始。2018年度より極東連邦大学の日本語学科教員を客員准教授として2年間にわたり招聘中。					丹羽 光一
(7)先端技術協力	大阪大学	核エネルギー・原子力	極東連邦大学 合同原子核研究所	高知大学 名古屋大学 九州大学			学生の相互派遣 その他(若手研究者の相互派遣、研究会・セミナーの開催等)	修士 博士 その他(若手研究者)		③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 2018年11月にワークショップ「Development of simulation by GPU for the study of quark-hadron matter at high temperatures and densities」を大阪大学で開催し、GPU搭載のスパコンシミュレーション開発とその基礎物理学への応用について、大学院生を含む若手人材育成のための講演・討論を行う。2019年1月頃までに、大阪大学から若手研究者を派遣し、11月のワークショップの成果を進展させ、大学院学生の育成のためのセミナー講演を行う。	素粒子・原子核分野における、研究者と学生交流に関心がある。				保坂 淳	
	北海道大学	生物計測化学	モスクワ国立大学				その他(セミナーの開催、実験指導など)	修士 博士		③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 2018年にChemical Enzymology DepartmentのSergei Erenin教授が来日し、蛍光偏光免疫分析法及び免疫分析法に関するセミナーを行った。また、北海道大学大学院総合化学院学生に実験指導を行った。					渡慶次 学	
	北海道大学	触媒									*詳細は「(3)中小企業交流」の欄に記載					西田 まゆみ
	東京工業大学	生命理工学 ライフエンジニアリング 原子核工学	モスクワ国立大学 モスクワ国立原子力研究大学(MEPH) ロシア科学アカデミー附属タンパク質研究所 ロシア科学アカデミー附属細胞生物物理学研究所 ロシア科学アカデミー附属微生物化学生理学研究所 ロシア科学アカデミー附属理論・実験生物物理学研究所 ロシア科学アカデミー附属基礎生物学問題研究所 ロシア科学アカデミー附属プーチン研究センター ロスアトム(ロシアの国営原子力企業) 株式会社味の素ジェネチカ・リサーチ・インスティテュート(AGRI)	健康・医療産業や原子力・エネルギー産業を先導する日露工学系人材育成プログラム	Nurturing leader scientists and engineers for healthcare, medical, nuclear power, and energy industries between Japan and Russia	Японско-российская программа развития человеческих ресурсов в области технологий-лидеров в здравоохранении, медицинской промышленности, энергетической промышленности	学生の相互派遣 短期研修(2週間) 長期研修(3ヶ月間以上) その他(学生交流シンポジウムを毎年1回開催) 変更済み	学部 修士 博士 その他(教員)	検討中	①大学間協定に基づく学生交流 生命理工学、ライフエンジニアリング、原子核工学分野における学生交流を2017年度から5年間実施。 2018年からは毎年12名ずつ短期間(2週間)派遣・受入、毎年3名ずつ長期間(3か月間以上)派遣・受入。 ②企業・地方自治体等との連携 日露双方の大学の学生交流・教員交流に、日露企業(AGRI)が連携。 ③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 生命理工学、ライフエンジニアリング、原子核工学分野の学生交流シンポジウムを2017年度から5年間、毎年1回日本あるいはロシアで開催。	モスクワ国立大学で開催される国際バイオトーナメントに参加するロシアの他大学の学生との交流も推進。	http://www.iuep-russia.titech.ac.jp/	http://www.iuep-russia.titech.ac.jp/en/	http://www.iuep-russia.titech.ac.jp/ru/	梶原 将	

室蘭工業大学	希土類硫化物熱電材料 ハイオプラスチック	ヨッフエ物理学技術研究所 ニコラエフ無機化学研究所	大阪大学 金沢大学	レアアース資源有効活用研究のための 国際拠点形成	Rare Earth Program		学生の相互派遣 インターンシップ その他(教員の相互派遣、 シンポジウムの開催など)	修士 博士 その他(研究員)		①大学間協定に基づく学生交流 2012年 ヨッフエ物理学技術研究所と学術交流協定締結 ③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) ・「ムロンマテリアルズ」創成教育プログラムの一環として、ニコラエフ無機化学研究所とヨッフエ物理学技術研究所と人材交流との人材交流(平成24~27年度 毎年1~2名、平成28年度教員1名、学生1名派遣;平成30年度学生1名派遣予定) ・Muroran RE workshop開催(ロシアより平成28年度3名、平成29年度2名、平成30年度1名招聘)	http://www.muroran-it.ac.jp/kidorui/kidorui/index.html			平井 伸治 葛谷 俊博
金沢大学	電子情報 機械工学 数学 物理学 物質化学 ナノ生命科学	カザン連邦大学 極東連邦大学 ロシア科学アカデミー極東支部	PFU アクトリー 津田駒工業	日露をつなぐ未来 共創リーダー育成 プログラム(基礎 科学プログラム、 先端科学技術プログラム)	Training Program for Russia-Japan Innovative Leaders of Tomorrow (Basic Science Program, Advanced Science and Technology Program)	Японо-российская программа подготовки и лидеров будущего (Программа в сфере фундаментальной науки, Передовая научно-техническая программа)	学生の相互派遣 インターンシップ	修士	ダブルディグ リープログラム (対象:修士、 相手大学:カザ ン連邦大学)	①大学間協定に基づく学生交流 ・カザン連邦大学 交流協定(1998年~) ・極東連邦大学 交流協定(2014年~) ②企業・地方自治体との連携 日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラムでの学生交流 ・基礎科学プログラム・先端科学技術プログラム(2017年度~) 【受入れ】インターンシップ・企業見学受入れ企業:PFU、アクトリー、津田駒工業	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/program/	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/en/program/	http://rutenkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/m/	田中 茂雄
東海大学	レーザー技術	モスクワ国立大学					学生の相互派遣	修士 博士		①大学間協定に基づく学生交流 本学とモスクワ国立大学物理学部との協定により、大学院レベルでの学生交換を実施中(毎年概ね1、2名)。分野は主にレーザー技術。 ③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) (2017年度) ・11月:モスクワ大学物理学部所属の学生(博士課程)を招へいし、シンポジウムに参加。 (2018年度) ・11月:モスクワ大学物理学部より学生(博士課程)を招へいし、シンポジウムに参加予定。				山口 滋
近畿大学	製品開発、プロジェクトを 推進・牽引するグローバル 人材の養成	モスクワ国立大学 ドブナ国立大学 ITMO大学 チュメニ国立大学 極東連邦大学 サンクトペテルブルグ国立大学 ロシア政府附属財政大学 モスクワ国立工業物理研究大学 (MEPhI)	豊田通商株式会社 豊田通商ロシア (Toyota Tsusho RUS LLC、モスクワ)	日露間で活躍できる モノづくり中核 人材の育成	Human Resource Program for Monodukuri Engineer in Japan and Russia	Воспитание центральных кадров монодурки для работы в области японо-российских отношений	学生の相互派遣 インターンシップ	学部 修士 博士	なし	①大学間協定に基づく学生交流 教育プログラムは①短期人材交流プログラム(2週間/双方向)、②交換留学プログラム(1セメスター/双方向)、③学位プログラム(修士:2年、博士:3年/東大専攻モノづくり専攻への受入のみ)の3層で構成され、これら全てにおいて企業でのインターンシップが実施される。また、②では、ロシア協定校と人材ニーズを十分に反映した協同教育の企画・運営を行い、協同教育プログラム委員会の設置等、単位互換・ジョイントディグリーの可能性を検討する。ロシアに留学する学生に対しては初等ロシア語教育、危機管理教育等の選前教育を十分にを行い、ロシアからの受入学生には日本語・日本文化研修等を人材交流の一環として実施する。 ②企業・地方自治体等との連携 本事業の円滑な実施のため、マクロの業務種別を通じて近畿大学と協力関係にある豊田通商株式会社および豊田通商ロシアと連携し、豊田通商ロシアのモスクワ、サンクトペテルブルグ事業所内に、近畿大学モスクワおよびサンクトペテルブルグ事務所を設置している。両事務所は、本事業におけるロシア企業の人材育成ニーズ調査、ロシア国内でのインターンシップ実施、学生の安全確保・危機管理のための情報収集等を一括して行う。	https://www.kindai.ac.jp/about-kindai/disclosure/research-funding/russia-manufact/	https://www.kindai.ac.jp/about-kindai/disclosure/research-funding/russia-manufact/	田中 仙君	
東海大学	ライフケア									*詳細は 「(1) 医療健康」の欄に記載、「(4) エネルギー開発」にも別掲あり				山本 佳男
小樽商科大学	APEC 国際貿易に関する経営学・ 経済学・法学 地域振興への大学の貢献									*詳細は 「(5) 産業多様化の促進」の欄に記載				小林 友彦
小樽商科大学	日露観光人材交流・育成	サンクトペテルブルグ国立大学 サンクトペテルブルグ国立映画テレビ大学	はこだて未来大学 TTTアブロードアカデミー	日露交流の礎となる 観光人材交流・ 育成事業	Development of human resources in tourism industry as a basis of future cooperation between Japan and Russia	Подготовка кадров в сфере туризма как основа для японо-российского сотрудничества	学生の相互派遣 その他(研究者の相互 派遣、セミナーの開催 など)	学部		③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 1) 日本の観光都市・日本文化紹介セミナーの開催 2) 日本語会話レッスンの開催 3) 日本への旅行・留学希望学生への相談会の開催 4) サンクトペテルブルグ各大学の制度、カリキュラム等の調査 5) サンクトペテルブルグのメディア(TV局等)の視察	文化芸術・観光に関する共同セミナー・イベントの開催 地域:サンクトペテルブルグ、ナホトカ、ウラジオストク 組織:サンクトペテルブルグ国立大学、サンクトペテルブルグ国立映画テレビ大学			高野 宏康
北海道大学	・持続可能な開発のための 教育(ESD) ・ESDグローバルパート ナーシップ協同教育プログラム	サハリン国立大学		双方向型短期留学 支援プログラム 「ESD Campus Asia Pacific」 ESDグローバル パートナーシップ 協同教育プログラム			学生の相互派遣	学部(2~4 年生、2年 生が主体)		①大学間協定に基づく学生交流 教育学部では6大学5か国間の双方向型短期留学支援プログラム「ESD Campus Asia Pacific」において、交流協定校のひとつであるサハリン国立大学教育学部との交流を2017年度より開始している。同時に「ESDグローバルパートナーシップ協同教育プログラム」として、同年、同大学と3か月間の単位互換・双方向型・短期留学プログラムも開始している(学士課程の学生を2.4名派遣)。両プログラムは、国連が掲げるSDGsを達成するための学びを異文化理解、多言語教育の観点から深め、実践的経験を通じて、社会的教育指導者の育成を目的とする包括的な教育を目指すものである。特に後者の試みは教育学部の4分野(教育基礎論・教育社会科学・教育心理学・健康体育学)からいずれかの専門分野を選択し、SDGsの掲げる課題を高度な教育学統合を通じて学習する(7科目の単位互換)。専門分野の学びを通じて、歴史的にも地理的にも関連の深い北海道とサハリンの架け橋となる日露の将来に備えた人的交流を促し、視野の広いグローバルな人材育成を図るものである。	1) 教育学部・国際交流プログラム https://www.eduhokudai.ac.jp/graduate_school/international/ 2) サマインスティテュート科目(HSI)の該当ページ(海外に公開しているプログラムであるため、HISでも掲載) https://hokkaido.summerinstitute.oia.hokudai.ac.jp/courses/CourseDetail=U012			池田 恵子
北海道大学	東アジア・極東ロシア地域 における移住プロセス 異文化コミュニケーション	サハリン国立大学 サハリン人文工科大学 サハリン州立歴史文書館 サハリン州立美術館 サハリン国立郷土博物館 ノヴォシビルスク国立工科大学					その他(国際シンポジウムの開催、共同プロジェクトの実施、共同出版プロジェクトなど)	修士 博士		③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) ③その他(学生交流・人材育成に関する実績と計画) 【サハリン】 サハリン国立大学、サハリン人文工科大学、サハリン国立歴史文書館、サハリン州立美術館、サハリン国立郷土博物館といくつかの研究・教育活動を行っている。 2014年11月 サハリン国立大学を訪問(学長を表敬訪問、学生向け留学説明会の開催 等) 2015年 国際シンポジウムへの招待。 2017年4月~2018年3月 サハリン国立歴史文書館、サハリン州立美術館、サハリン国立郷土博物館と共同プロジェクト「地域の生活における観光スポットとメディアとしての博物館」を立ち上げ 2018年度は「ポストコロナの空間における多文化共生の課題」というテーマで研究・教育活動を進める予定 【ノヴォシビルスク】 2015年11月ノヴォシビルスク国立工科大学訪問。(副学長と研究教育交流についての意見交換、学生向けの留学説明会の開催 等) ノヴォシビルスク国立工科大学人文科学部メディア研究部門との具体的な交流状況は以下の通り。 ・北海道大学メディア・コミュニケーション研究院とノヴォシビルスク国立工科大学共同出版プロジェクトによる出版の準備を進めている。 ・TLLPやHSIなどのプログラムを利用し、学生の交流を今後検討。			ハイチャヤ スヴェトラ ナ	

東北大学	心理学	モスクワ国立大学		ジョイントリー・スーパーサイズ・ディグリープログラム (修士・博士)			学生の相互派遣	修士 博士	ジョイントリー・スーパーサイズ・ディグリー (修士・博士)	①節局間協定に基づく学生交流 2018年10月から2セメスターの予定で、モスクワ国立大学の修士1年をジョイントリー・スーパーサイズ・ディグリープログラムの学生として受け入れている。					阿部 恒之
東北大学	日露異文化交流	モスクワ国立大学		モスクワ国立大学心理学部学生短期交流プログラム			学生の相互派遣	学部 修士		①大学間協定に基づく学生交流 心理学をテーマとした短期学生交流プログラムを実施している。					阿部 恒之
東京外国語大学	人文社会科学分野 多様なビジネス分野に関わる応用力を備えた、卓越した日露ビジネス人材を育成 貿易・金融・観光・交通、農水産業、製造業・IT、医療通訳・報道、文化交流等の多様な分野で日露経済活動を活性化	モスクワ国立大学 モスクワ国立国際関係大学 ロシア国立人文大学 国立研究大学高等経済学院 (ロシア) サンクトペテルブルク国立大学 極東連邦大学	副都大学 副都学園 (本学の受入学生を派遣し、学生同士の交流を進めている。) ソニー 横河電機 テロイト 伊藤忠 三井物産 ジェトロ 国際交流基金等 (多数の企業・団体に本学学生および受入学生へのインターンシップの機会を提供してもらっている。)	日露人的交流の飛躍的拡大に貢献するTUFSD日露ビジネス人材育成プログラム	TUFS Japan-Russia Student Mobility Program Creating Business Networks and Fostering Human Interaction	Программа Токійского университета международных исследований по подготовке кадров бизнес-кадров	学生の相互派遣 インターンシップ	学部		①大学間協定に基づく学生交流 多様なビジネス分野に関わる応用力を備えた、卓越した日露ビジネス人材育成し、貿易・金融・観光・交通、農水産業、製造業・IT、医療通訳、報道、文化交流等の多様な分野で日露経済活動を活性化させる。人文社会科学の分野において、単位交換をともなう交換留学を実施している。 ②企業・地方自治体等との連携 多数の企業・団体に本学学生および受入学生へのインターンシップの機会を提供してもらっている。	現段階で具体的な今後の交流計画はないが、現在の協定6校に加え、協定校の数を徐々に増やしていくとともに、世界展開強化事業(ロシア)で取り組んだ交流プログラムを可能な限りにおいて継続していくこと。	https://tufts-tenkai2rus-jp.com/	https://tufts-tenkai2rus-en.com/	https://tufts-tenkai2rus-ru.com/	沼野 恭子
新潟大学										*詳細は 「(2) 都市づくり」の欄に記載					道上 真有
大阪大学	日露教育交流・人材育成ネットワークの構築	モスクワ国立大学 ロシア民族友好大学 ウラル連邦大学 ノヴォシビルスク国立大学 トムスク国立大学 シベリア連邦大学 極東連邦大学					学生の相互派遣 インターンシップ その他 (語学検定試験受験サポートなど)	学部 (2年次以降) 修士		①大学間協定に基づく学生交流 学生派遣・受け入れ ②企業・地方自治体等との連携 インターンシップ (観光業界) ③その他 (学生交流・人材育成に関する実績と計画) 語学検定試験受験サポート					藤原 克美
上智大学	ロシア語 ロシア文化社会 グローバル社会	モスクワ国立大学 モスクワ国立言語大学 サンクトペテルブルク国立大学 サンクトペテルブルク国立文化大学 ゲルツェン記念ロシア国立教育大学 リャザン国立大学 ヴォロネジ国立大学 ペトロザヴォーツク国立大学 極東連邦大学					学生の相互派遣	学部 修士 博士		①大学間協定に基づく学生交流 9大学と全学レベルの学生交換協定を締結しており、毎年各大学と平均1~2名の学生交換を行っている。派遣については、主にロシア語学科の学生がロシア語や文化社会等について学ぶために留学しており、受入れについては、本学が英語で開講する国際教養学部や大学院のグローバル社会専攻を中心として受け入れている。	今後も交換留学を柱とした学生交流の促進に加えて、教員間の交流や共同研究 (特に、ロシアの言語・文化・社会など) の促進を希望する。				杉村 美紀
神戸学院大学	日本のアニメ・サブカルチャー	ニジニーノヴゴロド国立言語大学 モスクワ国立大学 ウラル連邦大学 ニジニーノヴゴロド市 エカテリンブルグ市	総務省 外務省 日露青年交流センター (JREX) 神戸市 神戸大学 神戸市立外国語大学				学生の相互派遣 その他 (伝統・現代日本文化フェスティバル、日露アニメ・オタク文化学生サミット)	学部		ロシアでも人気の高い日本のアニメやサブカルチャーを通じた交流 ①大学間協定に基づく学生交流 <派遣> ・派遣先: ニジニーノヴゴロド国立言語大学 ・派遣対象: 学部学生: 5名 ・派遣期間: 5月11~17日 <受入> ・その他に、ニジニーノヴゴロド国立言語大学より2017年7~9月の2ヵ月半(1名)、2018年9月の一ヵ月間(2名)の学生をインターンとして受け入れた。 ②企業・地方自治体等との連携 ・2017年、総務省の日露地方自治体間交流促進事業の一環として、神戸市が主催した学術・学生交流プログラムに神戸市内の二大学 (神戸大学・神戸市立外国語大学) とともに参加し、エカテリンブルグ市とウラル連邦大学を訪問し学生間交流を行った。 ③その他 (学生交流・人材育成に関する実績と計画) ・備考: 日本舞踊「桃宗流」との協力行事として日露青年交流事業として採択 (事業名「伝統・現代日本文化フェスティバル in ニジニーノヴゴロド」: 「ロシアにおける日本年」行事) ・活動実績: ・「日露アニメオタク文化学生サミット」(日露青年交流事業、モスクワ国立大学) ・「第2回日露アニメ・オタク文化学生サミット in 神戸」(日本政府が推進する対日理解促進交流プログラム、神戸学院大学ポर्टアイランドキャンパス)	引き続きアニメやマンガといった日本のサブカルチャーを通じた交流。希望地域: ロシア全土			岡部 芳彦	
神戸市外国語大学	学術面...人文学、特に語学、通訳・翻訳学、外国語教育; 教育面...共同研究・教材開発・共同論文指導 (コチユテル)・招聘研究者による講義・相互の遠隔講義 (通訳・翻訳、語学教育と国際理解教育を目的とする短期相互派遣プログラム、ICTを用いた日露の学生による協働の学び、アクティブラーニング、若手研究者の育成); 自治体と大学との連携・仲介による相互の学生インターン受入れ支援、コミュニティ通訳養成	モスクワ国立大学 国立プーシキン記念ロシア語大学 クバン国立大学 ウラル連邦大学 太平洋国立大学 エカテリンブルグ市	総務省 神戸市 神戸大学 神戸学院大学				学生の相互派遣 その他 (ロシア側の教員の招聘、ロシア言語文化短期研修の実施など)	学部 修士 博士 その他 (教員)	なし	①大学間協定に基づく学生交流 ・モスクワ国立大学 交流協定 (1967年~) ロシア語教授法を専門とする教員 (ロシア語ロシア文化学院所属) の招聘 (1975年~)、長期休暇 (夏・春) のロシア言語文化短期研修の実施 (単位認定 5~10名/回) ・国立プーシキン記念ロシア語大学 交流協定 (2001年~) 半年~1年間の長期派遣留学の実施 (単位認定、1~3名/年) ・クバン国立大学 交流協定 (2015年~) ※学術関係含む 学生の相互派遣・受入れ (単位認定、学内選考あり、2名/年) 先方の招待を受け、2017年度中にも本学の代表が訪問し、今後の学術交流の展開について意見交換の予定。 ・ウラル連邦大学 交流協定 (2015年~) ※学術関係含む 学生の相互派遣・受入れ (単位認定、学内選考あり、1名/年、但し今後枠を拡大する予定) ・太平洋国立大学 交流協定 (2016年~) ※学術関係含む 学生の相互派遣・受入れ (単位認定、学内選考あり、2名/年) 交流実績 交換留学 (提携校3校5名) 3校とは学生・教員、学術交流協定締結 ・クバン国立大学、ウラル連邦大学、太平洋国立大学 *短期留学 (夏季、春季)、その他私費による単位認定留学あり (2017年度派遣実績 8大学 13名; 2013~2018年度の累計参加者数 受入10名 (交換留学) 派遣107名、内訳: 交換留学12名、長期派遣留学 51名、短期派遣留学44名) ②企業・地方自治体等との連携 2017年、総務省の日露地方自治体間交流促進事業の一環として、神戸市が主催した学術・学生交流プログラムに神戸市内の二大学 (神戸大学・神戸学院大学) とともに参加し、エカテリンブルグ市とウラル連邦大学を訪問し学生間交流を行った。 ③その他 (学生交流・人材育成に関する実績と計画) 伝統・現代日本文化フェスティバル、日露アニメ・オタク文化学生サミット。	今後も地域の高等教育機関の連携による日露の学術・教育交流の促進を検討中。	http://www.kobe-cufs.ac.jp	http://www.kobe-cufs.ac.jp/english/	岡本 崇男	

創備大学		モスクワ国立大学 極東連邦大学 ロシア民族友好大学 モスクワ国際大学 トルストイ記念トゥーラ国立教育大 学 プレハーノフ記念ロシア経済大学 ロシア国立人文大学 北東連邦大学 バイカル国立大学				学生の相互派遣	学部 修士 博士	① 大学間協定に基づく学生交流 ・モスクワ国立大学 交流協定（1975年～） 学生の相互派遣（長期留学、4名/年、単位認定あり） ・極東連邦大学 交流協定（1991年～） 学生の相互派遣（長期留学、1名/年、単位認定あり） ・ロシア民族友好大学 交流協定（2014年～） 学生の相互派遣（長期留学、3名/年、単位認定あり） ・バイカル国立大学 交流協定（2015年～） 学生の相互派遣（長期留学、1名/年、単位認定あり。2019年度より） ・北東連邦大学 交流協定（2018年～） 学生の相互派遣（長期留学、1名/年、単位認定あり。2019年度より） ・その他の交流協定を持つ大学 ・サンクトペテルブルグ国立大学、モスクワ国際大学、トゥーラ国立教育大学、プレハーノフ記念ロシア経済大学、ロシア 国立人文大学、プーシキン記念国立ロシア語大学（2014～2016まで学生派遣） 上記の大学に随時、学生を派遣している。 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績と計画） 2016年 「ロシアセンター」開設	IT ロボット マネージメントなどの分野における （インターンシップなどを含む）交 流を望む				江口 満
------	--	--	--	--	--	---------	----------------	--	--	--	--	--	------